

# ひなまつり ~3月3日~

ひな祭りは、ひな人形やももの花を飾り、ひなあられなどを食べて、幸せを願う行事です。平安時代にさかんになった、3月3日に身についたけがれを流す厄よけの行事と、貴族の女の子が人形で遊ぶ「ひいな遊び」が結びついたものといわれています。

## だいらびな

おびな

めびな

屏風(びょうぶ)

ぼんぼり

三人官女

宮中につかえる女性

五人ばやし

「太鼓」「大鼓(おおつづみ)」「小鼓(こつづみ)」「笛」「謡(うたい)」の五人

左近(さこん)の桜

仕丁(しちょう)

宮中の雑用係で、怒りじょうご、泣きじょうご、笑いじょうごの三人

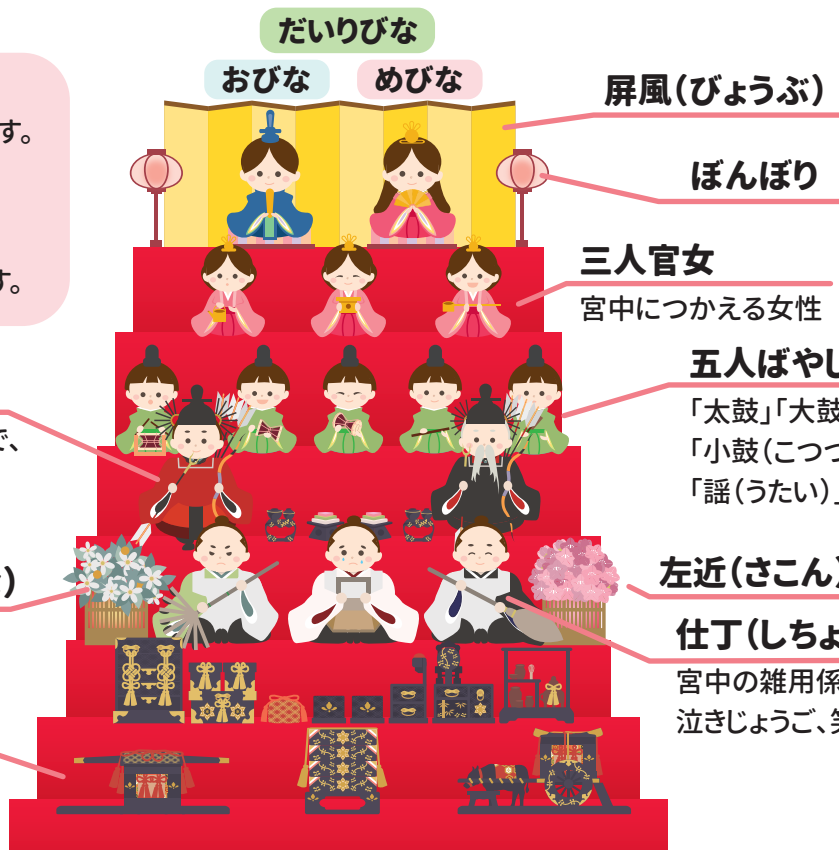
隨身(ずいじん)

護衛をする人たちで、若者が右大臣、老人が左大臣

右近(うこん)の橘(たちばな)

ひな道具

おひなさまの嫁入り道具やのりものなど



## ◆ひな祭りのたべもの

### ● 白酒

白くにござって、どろっとした甘いお酒。むかしはももの花びらをうかべ、厄よけとして飲まれていました。子どもはノンアルコールの甘酒(あまざけ)を飲みましょう。

### ● ひなあられ

関西風は餅をくだいて揚げたあられですが、関東風は米粒をあぶったものが原形です。

### ● ひしもち

ひしがたをした餅。上から赤、白、緑の順に重ねます。

赤は魔よけ、白はきよらかさ、緑には厄よけの意味があり、すこやかに育てほしいという願いが込められています。

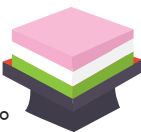
### ● はまぐりの潮汁(うしおじる)

夫婦の仲のよさをあらわす、はまぐりを湯や酒で蒸し塩で味をつけたお吸いものです。

はまぐりなどの二枚貝は対の貝殻しか合わないため、何事にも相性のよい相手と結ばれて、仲睦まじくすごせるようにとの意味があります。

### ● ちらし寿司

えび(長生き)、れんこん(見通しがきく)、豆(健康でまめに働く)など縁起のいい海の幸、山の幸をいりどりよくちらしたお寿司です。



ひな祭りというと、女の子だけの行事に思いますが、もともとは「上巳の節句」といい、年齢や性別を問わず幸せを願う邪気払いの行事でした。男の子しかいない場合でもお祝いをして文化を伝えていきましょう。

監修:シダックス総合研究所

参照:「はじめての行事えほん」株式会社パイインターナショナル発行

「和の行事を楽しむ絵本」株式会社永岡書店発行

「伝統行事がわかる図鑑①春のしきたり」株式会社ポプラ社発行

**SHIDAX**  
未来の子供たちのために

©2024シダックスフードサービス株式会社 NO.2403